

ふるさとと養老の明日を拓く

第七代町長就任と新年のごあいさつ

養老町長 川地 憲元



明けましておめでとうございます。町民の皆さまには、希望に満ちた新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

このたび、昨年11月の養老町長選挙におきまして、町民の皆さまの多大なるご支援と厳粛な負託を賜り、町政の舵取りを担わせていただくこととなりました。その大変な重責に身の引き締まる思いでございます。

新型コロナウイルス感染症の拡大は第8波を迎え、感染者数も急増しております。亡くなられた方々とご遺族に対し、心よりお悔やみ申し上げますとともに、療養中の皆さまの一日も早い回復を切にお祈り申し上げます。町民の皆さまにおかれましては、感染拡大に歯止めをかけるため、今一度、感染症対策の徹底をお願いいたします。

さて、私が町のトップとして掲げる政策目標は、「地域経済の活性化と雇用の創出」「子育て支援策の充実」「健全財政の維持」「SDGsの推進を通しての地方創生のまちづくり」でございます。これらを実現するための個別施策である「人口減少対

策」「交通アクセス・住環境の改善」「産業振興」「誘客促進」「コロナ対策」「防災・減災対策」などに積極的に取り組んでまいります。

まず「人口減少対策」でございますが、本町の人口は、近隣市町と比較しても著しい速さで減少しており、特に若い世代・子育て世代の流出が、次の世代の減少も引き起こす負のスパイラルを生み出しているともいえます。ふるさと回帰や移住定住の促進を通して町外への転出抑制を図るとともに、留守家庭児童教室の拡充などによる子育て世帯に対する支援を実施いたします。地域の中で、社会の中で、男女問わずみんなが活躍できるまちを目指してまいります。また、町内外に関わらず、ふるさと養老を応援し、支援いただける養老サポーターを創出し、地域の活性化に積極的に取り組んでまいります。

「交通アクセス・住環境の改善」に関しては、オンデマンドバスを中心とした地域公共交通の利便性の向上を図るとともに、高齢者にも優しい移動手段の確保に取り組み、交通弱者を生み出さな